

本時の見どころ

新型コロナウイルス感染拡大が経済にどのような影響を与えたのか、具体的な事例を通して、需要量と供給量、価格が変化した理由を追求していく活動を行います。さまざまな資料をもとに、価格の決まり方について、需要量と供給量、生産者・消費者の立場、効率と公正に着目し、多面的・多角的に生徒が表現していく姿をご覧ください。

社会科（公民的分野）学習指導案

日時 令和2年11月27日（金） 第5校時

場所

年組

指導者

1 単元名 第4章 1節「消費生活と市場経済」（教育出版 P.120～131）

2 単元について

（1）単元観

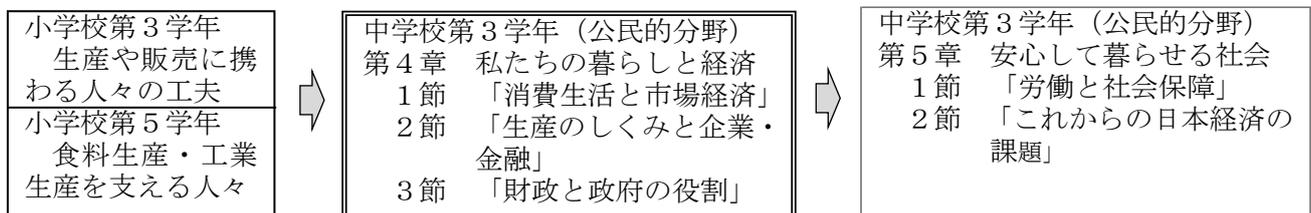
本単元は、中学校学習指導要領の公民的分野「（2）私たちと経済」の「（ア）市場の働きと経済」に位置付けられている。経済に関する内容の学習において、「経済活動が我々の社会生活にあらゆる面で密接なかかわりをもっていることを踏まえたりしながら、今日の経済活動に関する諸課題について着目させ、自ら考えようとする態度を育てる」「経済に関する様々な事柄や課題について、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方と関連付けて考える力を育てる」ことを主なねらいとしている。

現在の日本経済は、新型コロナウイルス感染拡大によって、景気悪化が見込まれ、また、世界各国の景気悪化により、外国との貿易総額が前年度よりも下回ると予想されている。国内では、訪日外国人の減少による観光業等のサービス業の大幅な落ち込みや外出自粛などの行動制限により、個人消費の大幅な落ち込みが予想されている。さらに、企業業績の悪化が、雇用削減や賃金抑制となって、家計所得を下押しすると予想されている。政府は、企業への支援対策や消費者への消費喚起を中心とする景気刺激策の実行を本格化させている。今後、日本の景気が回復に向かう時期は、国内だけでなく海外を含めたコロナ感染の状況に左右されるものと思われる。

本単元では、身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させるとともに、価格の働きに着目させて市場経済の基本的なしくみについて理解させることをめざしている。現実の経済に対する関心を高め、経済的な事象をとらえる見方や考え方の基礎や、経済に関する課題を解決しようとする態度を養っていくうえで、大変有意義な学習内容である。

（2）系統観

本単元における系統は以下の通りである。



(3) 生徒観

本学級は、男女とも仲がよく、明るく元気な生徒が多い。社会科の授業では、積極的に発言することが得意な生徒もいるが、自分の意見を伝えるのが苦手な生徒もいる。最近のニュースや世の中の動きについて興味・関心が高く、台風10号が九州地方に接近した際には、お店でどんな商品が売っていたのか、よく知っていた。

また、経済に関する意識調査の結果は、次の通りである。(11月4日実施 生徒27人)

1	「経済」という言葉から、どのようなことをイメージしますか。	物を売ったり買ったりする、お金の動き、消費税、好景気とか不景気とか、株価の変動、政治、国や世界が関係している、国民の生活、私たちの身の回りのこと
2	新型コロナウイルスの感染拡大によって、価格が上がったもの・下がったものには何があるか。	上がったもの：マスク、消毒用アルコール、除菌シート、医療品、野菜、情報機器 下がったもの：株価、旅館・ホテルの宿泊費、高級なお肉とかフルーツ、働く人や会社の収入、
3	新型コロナウイルス感染拡大によって、商品の数(量)が足りなくなったり、たくさん余ったりしたものは何があるか。	足りなくなったもの：マスク、除菌シート、トイレットペーパー、体温計、カップラーメン、お菓子の材料など、パソコンのカメラ、教育用のタブレット、スイッチ・あつ森(ゲーム機)、医者・ベッドの数、コロナ検査キット たくさん余ったもの：ライブチケット、花、魚などの高級品、お店が開けなくなったときの食料、給食に使っていたもの(牛乳・野菜)、インターネットで買えないもの
4	ものを作る生産者は、どんなことを考えながら、生産するものの量を決めていると思いますか。	どれぐらいが適量か、需要のあるものを多く生産する、使う人のことを考えながらお金が一番儲けられる量、世の中の動きや流行、最近のはやりや出来事に応じてみんなが買うことができるようにと考えている、コロナの中でどれぐらい量が売れるか計算しながら余りが出ないように、その時の状況や環境に合わせて消費者が必要としているものを考えながらその量も決めている
5	ものを作る生産者は、そのものを売るとき、どんなことを考えながら、価格を決めていると思いますか。	収穫量やその年の商品の出来、ライバル社の製品より安くする、売れぐあい、そのものを作る費用、そのものの価値にあった値段で自分の利益になるように、相手がいっぱい買ってくれて自分がもうかる価格、商品が残ったり足りなくなったりするのを防いでいる、生活必需品はできるだけ安く、経済をよりよくするため、今人々がどんな状況に考えているのか考え消費者が買いやすい価格にしている
6	消費者は、どんなことを考えながら、商品を買っていますか。	賞味期限・消費期限、生産者・生産地、値段・量、原材料、国産、鮮度、衛生面、安全性・品質、安心・安全、見た目、ブランド、旬のものかどうか、テレビやSNSでの情報、本当に必要な物なのか、安くて長く使えるもの、高くてもその一つを長く使えるのならそれを買う、生産者に感謝

意識調査の結果を見ると、「経済」という言葉をお金の動き、株価などの単語で大まかに捉えている。新型コロナウイルス感染拡大によって、価格が上がったものや品物が足りなくなったもの、価格が下がったものや品物が余ったものを思いついて書いている生徒が多い。また、生産する量や値段の決め方について、生産者・消費者の立場に立って自分の考えを書くことができている生徒もいる。

(4) 指導観

本単元では、同じ社会に生きる多様な立場の人々にも目を向けさせる学習課題や話し合い活動を通して、世代を超えた他者の立場を理解し、将来、国民の一人として経済活動に関心を持ち、自分がどのように関わっていくことができるかを真剣に考える姿勢を養う機会としていきたい。

- ・生徒の実態をもとに、本単元では、身近な暮らしと深く結びつく「経済」のしくみが、「三つの経済主体」を軸とした経済循環によって成り立ち、それらが「もの・人・お金」を動かしていることに関心を持たせる。

- ・事例をもとに、需要量と供給量、価格が変化した理由を追究していく活動を通して、価格の変化に生産者・消費者の立場だけでなく、効率と公正にも着目することで、生徒に「問い」を持たせ、課題について表現させる。
- ・さまざまな資料の読み取りを通して、「もの」や「人」、「お金」の動きについてわかったことを、家計、企業、政府を中心とした図表にまとめさせる。
- ・「家計」の経済活動について、身近な暮らしにおける消費や価格のもつ意味を通じて理解させる。その際、流通機構の発展、市場メカニズムのしくみとともに、効率と公正について考えさせる。

単元を貫く課題：自分たちの暮らしと経済活動のつながりに、新型コロナウイルス感染拡大はどのような影響を与えたのか。

事例をもとに、需要量と供給量、価格の変化の理由を追求していく活動。

生産者・消費者の立場、効率・公正

3 単元の目標

単元を終えたときの生徒の姿（ゴール）

国民の一人として消費生活に関心を持ち、自分の暮らしと結びつけて考えようとしている生徒。

社会的事象への関心・意欲・態度	身近な暮らしと経済活動とのつながりについて関心を高め、今日の経済活動に関する諸問題に着目し、個人の経済活動について考えを深めさせる。
社会的な思考・判断・表現	家計と企業がどのように結びつき、身のまわりの暮らしとどのように関わっているのか、消費者を守る法律や制度、需要量と供給量の関係と価格決定のしくみについて、多面的・多角的に考察させる。
資料活用の技能	個人の消費に関する資料を通して、「もの」や「人」、「お金」の動きについての情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりさせる。
社会的事象についての知識・理解	家計と企業が結びつき、もの・人・お金を動かしていること、企業や個人は価格を考慮しつつ、何をどれだけ生産・消費するか判断していることを理解し、その知識を身につけさせる。

4 単元の指導計画と評価（規準）計画（全7時間 本時 7/7）

次	時	主な学習内容	評価
1	1	「循環する経済」 ・経済を動かす3つの主体をとらえながら、自分たちの暮らしと経済活動とのつながりへの関心を高める。	・お金の果たす役割や、自分たちの身近な暮らしと経済活動とのつながりについて関心を高め、経済活動の意味について考えている。 【関心・意欲・態度（ワークシート）】
単元を貫く課題：自分たちの暮らしと経済活動とのつながりに、新型コロナウイルス感染拡大はどのような影響を与えたか。			
2	2	「家計の果たす役割」 ・家計の果たす役割を、財やサービスの供給と、消費や貯蓄との関わりから理解する。 ・さまざまな支払いの手段のしくみを理解させ、無理のない消費生活のあり方について考える。	・クレジットカードや電子マネーなど、支払いにはさまざまな手段があることや、貯蓄の意義、商品の選択のあり方などについて理解し、その知識を身につけている。 【知識・理解（ワークシート）】

	3	<p>「消費者の権利と責任」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動を支えるものとして、消費者の安全や権利を守るために、法律や制度が定められていることを理解する。 ・消費者問題を通して、消費者の自立における契約の意味を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者の安全や権利を守る法律や制度があることを理解し、自立した消費者として契約を守る責任が求められていることを理解している。 <p>【知識・理解（ワークシート）】</p>
	4	<p>「流通のはたらき」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流通のしくみを理解し、自分たちの生活と流通との関わりに気づく。 ・流通機構の変化と発展における自分たちの生活への影響を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産された商品が消費者の手元に届くまでの流通経路や、さまざまな流通のしくみについて理解し、その知識を身につけている。 <p>【知識・理解（ワークシート）】</p>
3	5	<p>「市場のはたらき」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需要と供給と価格の関係について考え、市場経済のしくみを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・需要量と供給量の関係や市場価格を均衡価格へと導く市場メカニズムによる価格決定のしくみについて理解し、その知識を身につけている。 <p>【知識・理解（ワークシート）】</p>
	6	<p>「市場の長所と短所」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な価格の種類をふまえながら、競争の役割を通して、市場が機能するために必要な条件を考える。 ・財やサービスの種類によっては、市場に適さないものがある理由を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市場メカニズムが効率的にはたらくためには、どのような条件や制度が必要かを考察している。 <p>【思考・判断・表現（ワークシート）】</p>
	7 (本時)	<p>「新型コロナウイルス感染拡大と価格の決まり方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場における商品の価格の決まり方について、身近な生活の中から具体的に考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・価格の決まり方について、市場メカニズムが働く場合と働かない場合があることを理解し、表現している。 <p>【思考・判断・表現（ワークシート）】</p>

5 本時の学習

(1) 本時の目標

価格の決まり方について、市場メカニズムが働く場合と働かない場合があることを理解し、表現することができる。

(2) 本時の展開

過程	時間	主な学習内容	学習過程	○教師の指導 ・予想される生徒の反応	教材 資料等
導入	10分	1 新型コロナウイルス感染拡大の影響について振り返る。	一斉	○新型コロナウイルス感染拡大の影響について想起させる。 ・マスクが品不足になった。 ・マスクの価格が上がった。	需要量と供給量の関係によって価格が変化した商品
		2 本時のめあてを把握する。	一斉	○他にも品不足になったり、値上がりした商品、その逆で余ったり、値下がりした商品を想起させる。	
<p>新型コロナウイルス感染拡大は、価格の変化にどのような影響を与えたのか考えよう。</p>					

		<p>3 クイズを通して、需要量と供給量、価格の変化について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・価格が上がった商品 →需要量が伸びた、供給量が減った ・価格が下がった商品 →需要量が下がった <p>4 需要量と供給量、価格の変化について整理する。</p> <p>・市場メカニズムが働いた。</p>	<p>一斉</p> <p>一斉</p>	<p>○需要量や供給量、価格の変化について、生活経験をもとに考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バターは価格が上がった。 ・高級牛肉は価格が下がった。 ・価格が上がった商品は、需要量が増えた。供給量が減った。 ・価格が下がった商品は、需要量が減った。 <p>○資料や黒板の板書から、需要量と供給量、価格の変化を整理させる。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響で価格が上がった商品・下がった商品クイズ</p>
展 開	3 0 分	<p>5 本時の問題を把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時休校により学校給食が停止 →牛乳の需要が低下 ・牛乳の価格の変化 →変化なし（価格が一定） 	<p>一斉</p>	<p>○価格が変化しなかった商品の資料を提示し、生徒に新たな疑問をもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時休校中、学校給食が停止したため、牛乳の需要が低下したのではないのか。 ・牛乳の需要が低下したのならば、価格は下がったのではないのか。 ・休校中、牛乳の価格は下がっていなかったと思うけどな。 	<p>学校給食停止の写真、牛乳の販売金額の推移</p>
		<p>なぜ、牛乳の価格は、変わらなかったのだろうか。</p>			
		<p>6 自分の意見を書く。</p> <p>7 自分の意見を全体で発表し、意見の交流を行う。</p>	<p>個人</p> <p>班集体</p>	<p>○新たな疑問をもった事象について、既習事項や生活経験をもとに理由を予想させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・余った牛乳をバターなどの乳製品に加工したのではないのか。 ・余った牛乳を廃棄したのではないのか。 ・休校中、家庭での消費量が伸びたのではないのか。 ・販売の販路を拡大した。 	
		<p>8 GT（阿蘇の酪農家）へのインタビュー動画を通して、牛乳の価格が一定の理由を学ぶ。</p> <p>・チャプター1 生徒の予想に対する解答 →乳製品に加工した →家庭での需要が伸びた →破棄はしていない</p> <p>・チャプター2 牛乳の価格が変わらなかった理由の説明 →酪農家と企業との「契約」</p> <p>・チャプター3 契約をする理由 →安定して生産をするため</p> <p>・チャプター4 もし「契約」がなかったら →競争に負けて廃業する →「契約」によって酪農家が保護されている</p>	<p>一斉</p>	<p>○GT（阿蘇の酪農家）へのインタビュー動画を通して、企業の社会的役割と責任に気づかせる。</p> <p>・生徒の予想される問い</p> <p>Q. なぜ、牛乳の価格は一定なのか。</p> <p>↓</p> <p>Q. 牛乳の契約とは何か。</p> <p>↓</p> <p>Q. なぜ、契約をするのか。</p> <p>↓</p> <p>Q. なぜ、牛乳だけ価格が一定なのか。</p>	<p>GT（ゲストティーチャー）へのインタビュー動画「阿蘇の酪農家 高尾牧場 高尾さんのお話」</p> <p>酪農家・指定団体・乳業メーカー・消費者の関係図</p>

まとめ	10分	9 牛乳の価格が一定の理由について整理する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> ・酪農家を保護するために、牛乳には市場メカニズムが働いていない。 </div>	一斉	○G Tの言葉や黒板の板書から、牛乳の価格が一定の理由を整理させる。
		10 次の学びへとつなげる。	個人	○価格の決まり方について、今日の学習内容をもとに振り返らせる。

(3) 本時の評価

	評価基準
社会的な思考・判断・表現	<p>A：価格の決まり方について、需要量と供給量，生産者・消費者の立場，効率と公正に着目し，多面的・多角的に理解し，表現している。</p> <p>B：価格の決まり方について，市場メカニズムが働く場合と働かない場合があることを理解し，表現している。</p>